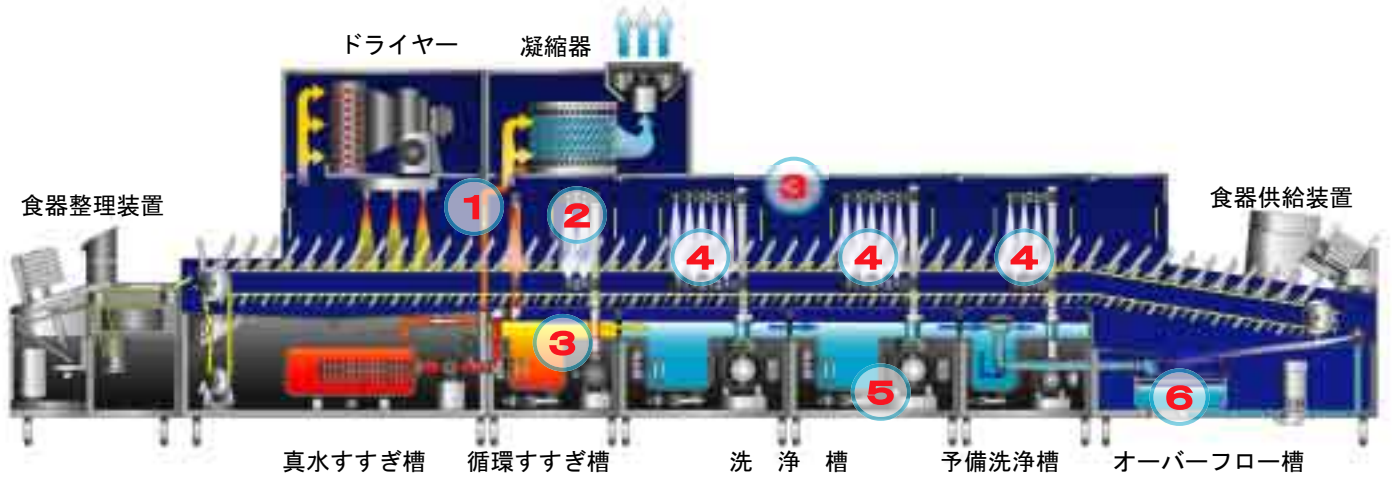


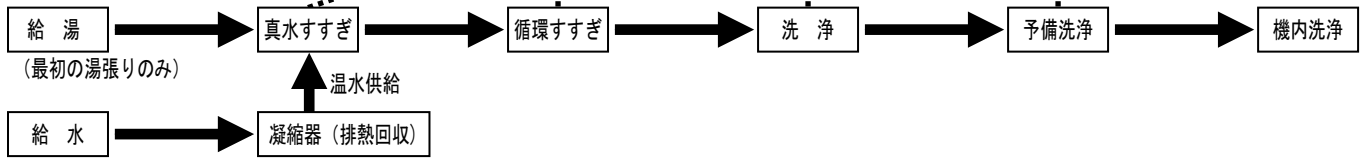
別紙2：学校給食センター対応高効率食器洗浄機システムイメージ図



[食器洗浄手順(右方向から)]



[給水・給湯(左方向から)]



①排気熱の再利用による省エネルギー効果の実現

洗浄機内の排気熱を利用して48℃にした温水を85℃まで沸き上げて、すすぎ水として再利用。

②ダブルすすぎ方式を採用

最終仕上げすすぎに使用した新鮮湯を循環すすぎ水に再利用するダブルすすぎ方式により、高い洗浄効果を実現。

③全面断熱二重構造

洗浄タンクを含めて本体全面を断熱材入りの二重構造とすることで、輻射熱及び運転音の低減を実現。

④汚れを削るナイフカット洗浄

洗浄ポンプの吐出能力アップに加え、汚れをナイフで削るような強力な洗浄効果を実現。

⑤R仕上げの洗浄タンク

汚れが溜まる洗浄タンク底のコーナー部をR仕上げにすることで、清掃性が向上。

⑥オーバーフロー水を再利用

オーバーフロー水は、汚れやすい機内のセルフクリーニングに再利用。

排気熱再利用及びダブルすすぎ方式

給水(10℃~24℃) → 除湿装置用凝縮器冷媒水 →

真水すすぎ槽 → 循環すすぎ槽 → 各洗浄槽

